水稲を基幹とした持続可能な経営の確立

～「総」意工夫で未来へ躍「進」～

活動年次：令和３年～令和７年

空知農業改良普及センター中空知支所

1　課題設定の背景 **********

対象：新十津川町　総進４・５区（13戸）

【現状・課題】
○家族経営中心
　→水稲専業
　→水稲＋園芸・畑作の複合経営
○規模拡大農家へ農地集積
　→労働力不足
○経営移譲が進んでいる
　→若手経営者の育成

【対策】
①土地利用型作物の安定生産
　→栽培管理技術の向上
　→省力化技術の導入
②高収益作物の推進
　→栽培管理技術の向上
　→新規園芸品目の導入
③担い手への技術伝承と資質向上
　→栽培･経営管理技術の習得

2　活動の経過 **********

①土地利用型作物の安定生産

○水稲高品位米出荷率の安定化（R3～R5）
○水稲省力化技術の定着（R5～R7）

戸別の改善目標設定→解決に向けた提案

・適正な肥培管理を行いましょう！
・適正な密度で植えましょう！
・登熟期の水管理は重要です！

○畑作物の適正管理と実践(R3～R7)

土壌改良と収量性の検証

・連作回避のため、子実用とうもろこしを導入しませんか？
・排水対策で、カットブレーカー施工しませんか？

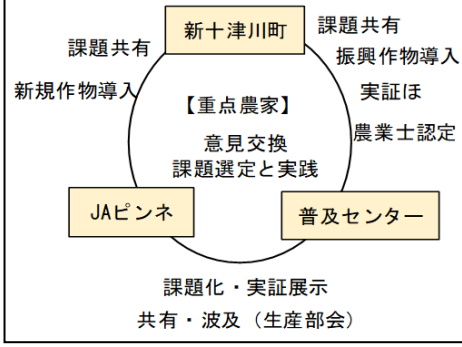
②高収益作物の推進

○ミニトマト収量の高位安定化（R3～R5）
○新規園芸品目（にんにく）の導入（R5～R7）

栽培技術の提案と実践

・草勢や土壌診断結果に基づいて、基肥や追肥をコントロールしましょう！
・アザミウマの発生予察で、適期防除しましょう！
・高温対策で遮光資材使ってみませんか？

関係機関との連携



③担い手への技術伝承と資質向上

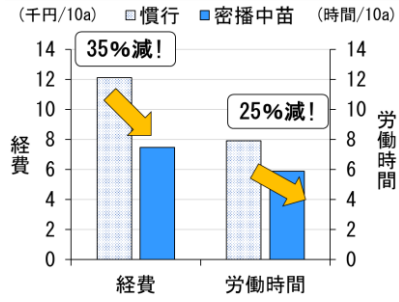
○栽培・経営管理技術の習得(R5～R7)

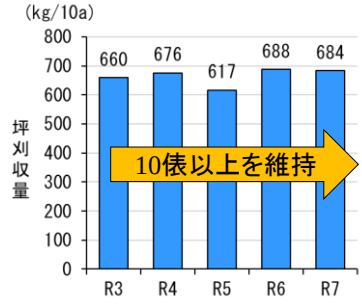
現地生育診断・営農モデル作成

・地域の将来を見据えた作付モデルを検討しましょう！
・コスト、所得も併せてシミュレーションしてみましょう！

3　活動の成果 **********

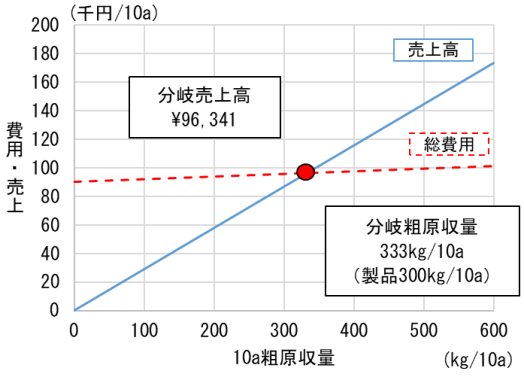
水稲省力化技術

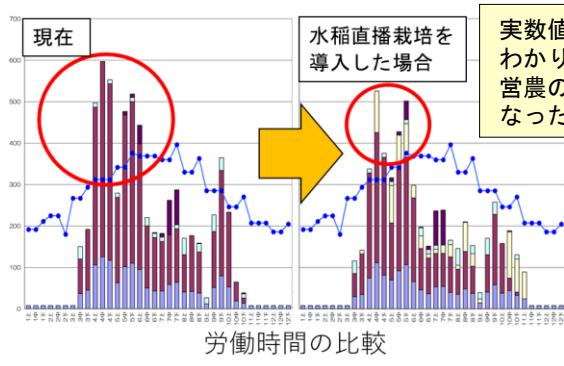




実証ほを基に
直播導入モデル提示！

省力栽培で経費・労働時間が減った！
収量も安定した！





実数値はわかりやすい！
営農の参考になった！

担い手育成

農業者	栽培知識	現地実践				経営管理	総合評価（資質向上）
		水管理	病害虫対策	雑草対策	生育診断		
C	○	□	□	○	○	□	□
D	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
E	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
F	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
G	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H	○	○	◎	○	○	○	○
I	◎	○	○	○	○	◎	○

◎：身に付いた　○：概ね身に付いた　□：少しは身に付いた

- 若手農業者の栽培管理技術定着
- 規模拡大に備え直播栽培導入を試算
  →労働改善効果を理解
- 若手リーダーが北海道農業士に認定

生育診断法がわかり適期管理できた！

【目標に対する成果】

目標事項	成　果
高品位米出荷率の高位安定化	0戸 → 9戸
水稲低コスト省力化技術の導入･定着	0戸 → 4戸
生育に応じた畑作物の適正管理転作畑における輪作体系の実践	0戸 → 1戸
ミニトマト収量の高位安定化	0戸 → 4戸
新規園芸品目の導入	0戸 → 1戸
栽培・経営管理技術の習得（担い手育成）	0戸 → 7戸

【最終年度到達目標達成】

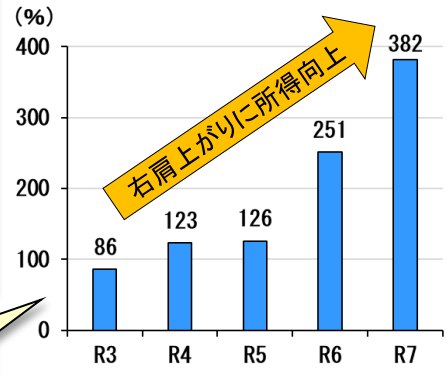
地域農業粗生産額
R2年度　28,300万円
目標：現状維持以上

R7年度　68,542万円
到達度　242%

粗生産額は倍増以上！

粗生産額だけでなく所得も向上！

【経営経済評価】



※R2年を100とした場合の農業所得指数

4　今後の活動 **********

①経営規模拡大農家への支援　　②生産部会・青年組織を通じた波及